



## かけぬけろ！明和っ子魂！



明和小学校(5月14日)



朝日小学校(5月21日)

# 小学校 春季大運動会



自分のため、チームのため、  
ふくしまのため！



只見小学校(5月28日)

## 暫 只見地区センター利用説明会 定期的な移転先の施設を確認

只見地区センター機能が旧只見中学校に移転したことに伴い、施設の利用説明会が5月16日に同地区センターの和室として使用される教育委員会の会議室で開かれ、地域の方10名が出席されました。出席者は会議室の種類や予約方法などの説明を受けたあと、利用可能な会議室を見学したり、1階にある事務室も確認、早速予約の相談をされていました。



▲ 開講式で元気に楽しく体操をする参加者

## 友 カルガモクラブ開講式 だちたくさん、みんなで遊ぼう！

教育委員会が主催するカルガモクラブの開講式が5月10日に教育委員会の会議室で開かれ、町内の親子18組37名が参加しました。このクラブは、保育所入所前の幼児と保護者を対象に子育ての情報交換やネットワークづくり、交流促進などを目的に月1回、様々なイベントを民生児童委員の皆さんと行うクラブです。入会をご希望の方、ご安心を。会員募集は随時行なっていますので、ご参加ください。



▲ 会議室の広さなどを確かめる出席者

## 新 第22回只見町民ハイキング 緑の只見を歩くべんねえかい！

真っ青な空と、さわやかな新緑のなか、5月15日に第22回只見町民ハイキングが行われました。コースは只見青少年旅行村から只見湖展望台公園を折り返す5.8kmと、歳時記会館を折り返す2.8kmのコースで行われ、172名が参加、新緑が鮮やかな周囲の山々と只見湖をながめゆつくりと歩き、春の一日を満喫しました。恒例のお楽しみ抽選会も行われ、最後まで盛り上がりました。



▲ 新緑のなかウォーキングで汗を流した参加者

## 青 要害山トレッキング 空のもと登山道には長蛇の列



▲ 天候に恵まれさわやかな汗を流した参加者

さわやかな青空が広がった5月15日に要害山トレッキングが行われ、福島県内はじめ、栃木県や東京都などから、昨年を上回る約130名が参加、予想以上にぎわいを見せました。今回は初めて記念バッジを作り参加者に配付、皆さん笑顔で受け取っていました。町内のガイドさんから、要害山(水久保城)の歴史を聞いた参加者からは「もっとPRしたらいいよ」という意見も聞かれました。

## 被 町消防団員・町職員震災ボランティア 災地の復旧を願い支援活動

東日本大震災による大津波で被災された浜通りのいわき市で、町内の消防団員と町職員の希望者が一日も早い地域の復興を願い、ボランティア活動を行いました。参加者数は5月15日が10名、16日が9名、17日が8名で、南会津町や下郷町、檜枝岐村などの参加者とともに被災地域の住宅周辺のがれきや県道、市道の土砂を取り除く作業を行い、予想以上の重労働に災害の大きさを痛感していました。



▲ がれきなどの撤去作業に当たる消防団員ら

## 迅 消防団非常招集訓練 速な消火活動と意識高揚を



▲ 真剣に訓練に臨む消防団員

5月8日、非常時の消防活動を迅速に行うことを目的に、只見町消防団の非常招集訓練が行われました。午前6時のサイレン広報で町内すべての分団に出動要請が出され、出火場所に想定された只見スキー場に集合。今回の訓練には団員88名、ポンプ車3台、消防積載車9台が出動し、消火訓練が円滑に行われました。終了後、鈴木好行消防団長から「予防消防に努めること」と訓示がありました。